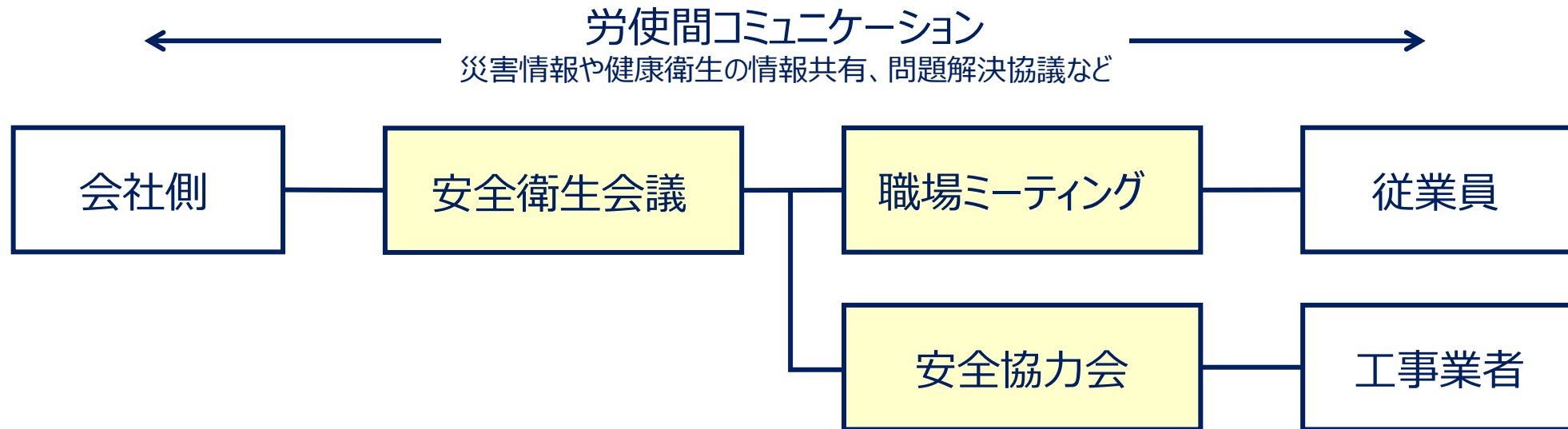


労働安全衛生の考え方

当社では、設備のハード対策だけでなく、組織文化における人や管理面に焦点を当てた活動を展開しています。
これを「**安全文化醸成活動**」と呼び、以下4つの理念を掲げています。

- ① 作業者による**本音**（生の声）を聞き出すこと
- ② 作業者がリスクに対する**感性**を上げること
- ③ 管理者と作業者の安全意識を**共有**すること
- ④ 仲間に働きかけ**相互啓発**をすること

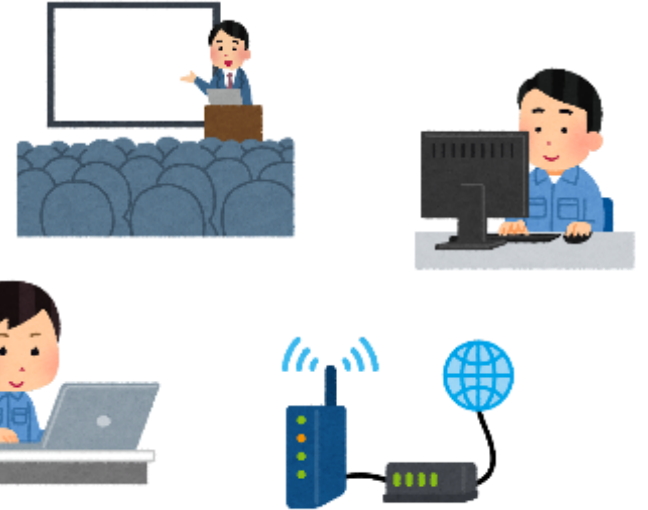


独自性のある安全活動①

動画による安全啓発教育とコンテンツの自社制作

映像で直感的に分かりやすい**動画教育**を行っています。

また、この動画を**自社で制作**しており、工場内の従業員が配役として出演したり、撮影現場も自社工程であったりと、世界で唯一無二のものになっています。身近な場所や人物が映像になることで、自分事として安全を意識しやすくなることを“ねらい”としています。



- ・手待ちでじっくり見る
- ・多数の従業員に目に付く場所



デジタルサイネージ活用



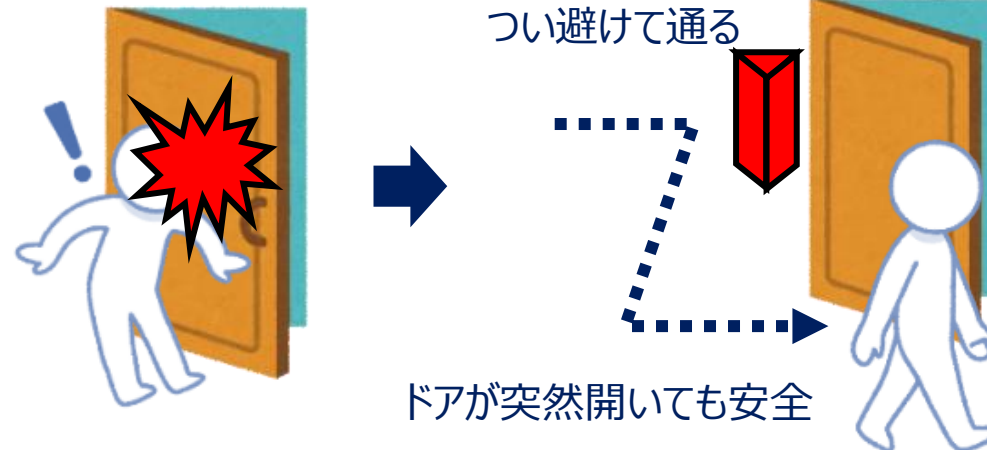
食堂の行列待ちでじっくり見る

独自性のある安全活動②

「仕掛け」による安全対策

人間の本能的な行動特性を利用した「仕掛け」を施すことで、安全な行動を促進する取り組みを展開しています。人間の自然な行動は、他から強制されることなく起きるので、安全行動が定着されやすくなります。

Case 1



Case 2



中央寄り幅が狭い



踏み外しリスク



横断幕で幅広部に誘導

Case 3



PPバンド機にセットする向きがズレると指が挟まる



目印線によって、向きを正確に合わせやすい

独自性のある安全活動③

危険体感研修の運用

安全意識を維持させるためには、危険を危険と感じれる感性が重要ですが、当社ではケガをすることなく、事故の恐さを体感することができる施設を保有しています。製造業における主要な事故、挟まれ、巻き込まれ事故に関わる体感はもちろん、高所からの墜落、フォークリフトとの衝突等については、VRを導入しており、最新の危険体感を行うことができます。



独自性のある安全活動④

新はつらつ体操による転倒・腰痛予防

「安全は健康な身体づくりから」を合言葉に、当社では転倒防止と腰痛予防を目的とした「新はつらつ体操」を全社で実施しています。下肢筋力やバランス能力の向上を図る運動と、身体をほぐすストレッチを組み合わせたオリジナル体操で、毎日の始業前に、ラジオ体操に続けて実施しています。

従業員の健康増進と安全意識の向上を通じて、誰もが安心して働ける職場づくりに取り組んでいます。

転倒予防

体幹筋力、下肢筋力、バランス力、
運動神経の向上



片足バランス



ツイスト



ランジ

腰痛予防

体幹の柔軟性、胸郭の可動域、
股関節の柔軟性の向上



体幹捻じり



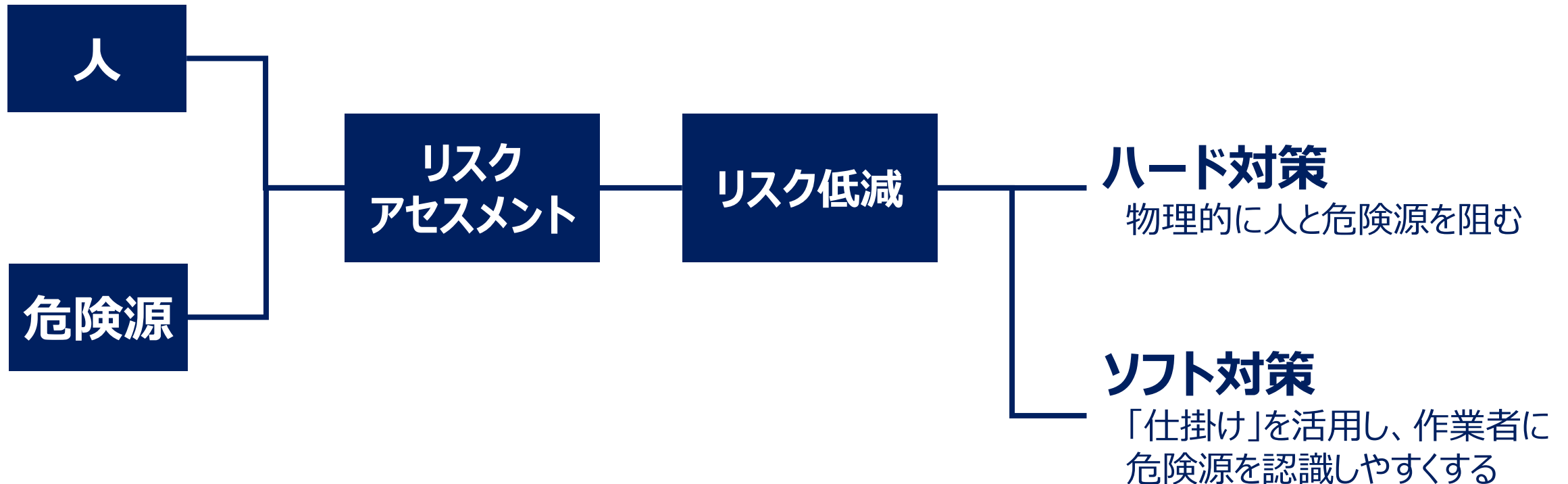
胸郭捻じり



内ももストレッチ

危険源の特定とリスクの評価

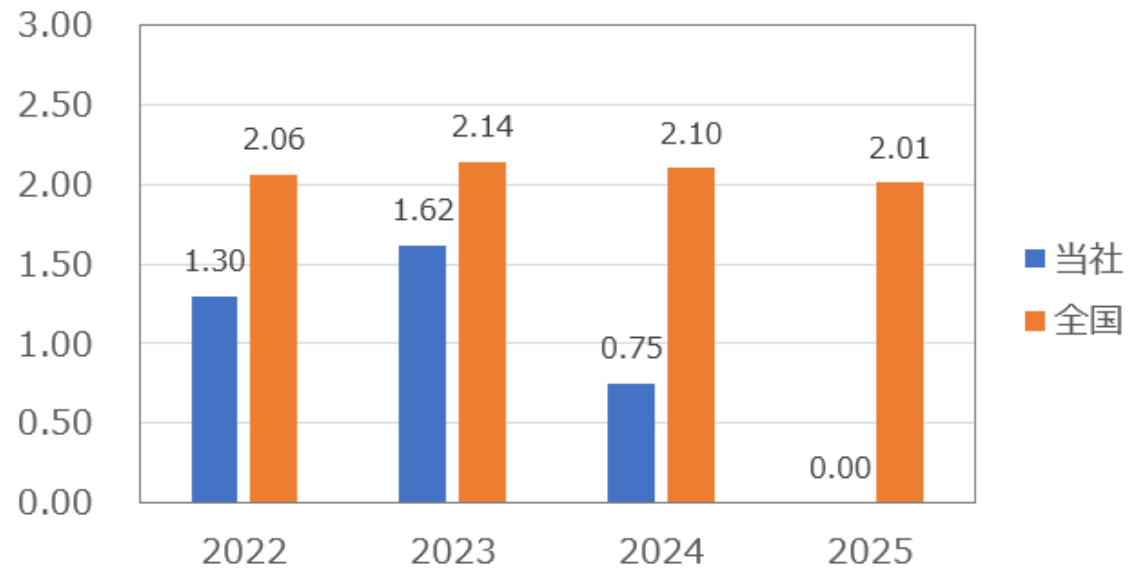
当社では、危険源を特定し、リスクアセスメントを行い、リスク低減に積極的に取り組んでいます。
全てのリスクについてハード対策で改善できることは理想的ですが、適宜ソフト対策も実施し、その際に「仕掛け」（独自性のある安全活動②参照）を効果的に活用し、作業者が危険源を意識しやすいような工夫を取り入れています。



労働災害実績

当社では、安心安全な職場を目指し、日々の安全衛生活動に努めています。

度数率比較



強度率比較

